

県北地域 サイクルツーリズム推進協議会

第2回協議会

令和2年11月4日

〈 内 容 〉

- 1 モデルルート(案)の試走の結果について
- 2 モデルルートの追加(案)について
- 3 走行環境整備(路面表示・案内看板)(案)について
- 4 モデルルート(案)の名称について
- 5 モデルルートの活用の仕方の事例紹介について
- 6 今後の進め方について

1 モデルルート(案)の試走の結果について

1-1 モデルルート(案)の試走の結果

(1) 概要

○第1回試走会

1)日時

令和2年9月17日(木) 午前9時から12時

2)目的

モデルルート(案)における走行性の確認や走行環境整備に必要な内容等について意見交換を行った

○第2回試走会

1)日時

令和2年9月28日(月) 午後1時から4時

2)目的

モデルルート(案)の魅力確認や今後モデルルート(案)を有効に活用したサイクルツーリズムを推進するための課題整理等を行った

○第3回試走会

1)日時

令和2年10月9日(金) 午前10時から午後3時

2)目的

モデルルート(案)における第1回、第2回の試走ルート以外の区間について走行性の確認を行った



1-2 モデルルート(案)の試走の結果

(2)第1回試走会

○第1回試走会

1)日時

令和2年9月17日(木) 午前9時から12時

2)目的

モデルルート(案)における走行性の確認や走行環境整備に必要な内容等について意見交換を行った

○試走会の概要

1)ルート

「道の駅 那須高原友愛の森」～
「JR黒田原駅」 往復約30km

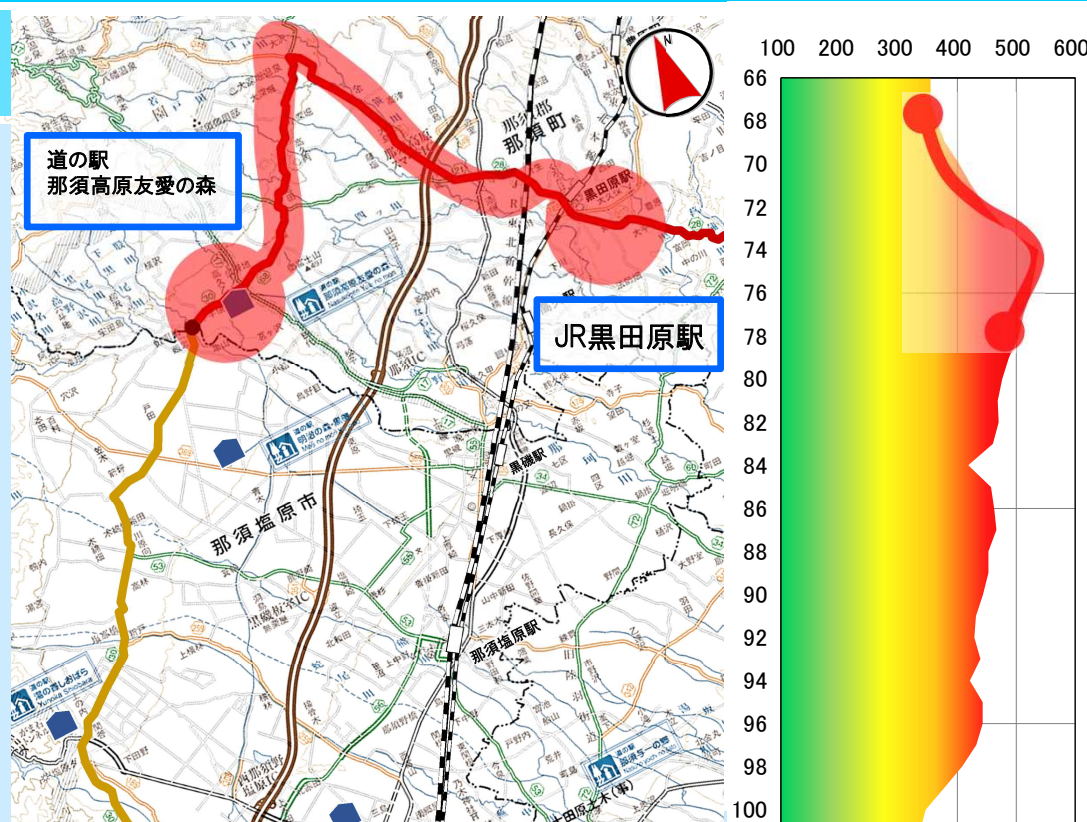
※モデルルート(案)の中で一番勾配の厳しい区間

2)参加者

高根沢委員、柿沼委員、若杉委員、谷委員、委員代理(矢板市、那須町、県道路管理者)、
県地域振興課、事務局 計14名

○各委員からの意見

- ・ロケーションが良く、走っていて楽しかった。
- ・今回の区間だけでも、内回りと外回りで違った楽しみができるルートだった。
- ・今回の区間は、中級くらいのコースであった。
- ・舗装面の痛みも部分的にあるが、道路整備も進んでいるので有り難い。
- ・路面を見ながら走るのので、路面表示や案内看板が整備されると安心して走行できる。
- ・下り坂はスピードが出てしまうので、速度注意等の標示があるとよい。
- ・今後、自動車と自転車のマナーが醸成されることに期待したい。



1-3 モデルルート(案)の試走の結果

(3)第2回試走会

○第2回試走会

1)日時

令和2年9月28日(月) 午後1時から4時

2)目的

モデルルート(案)の**魅力確認**や今後モデルルート(案)を**有効に活用したサイクルツーリズムを推進**するための課題整理等を行った

○試走会の概要

1)ルート

「城の湯やすらぎの里」～

「58 LOHAS CLUB」 片道約18km

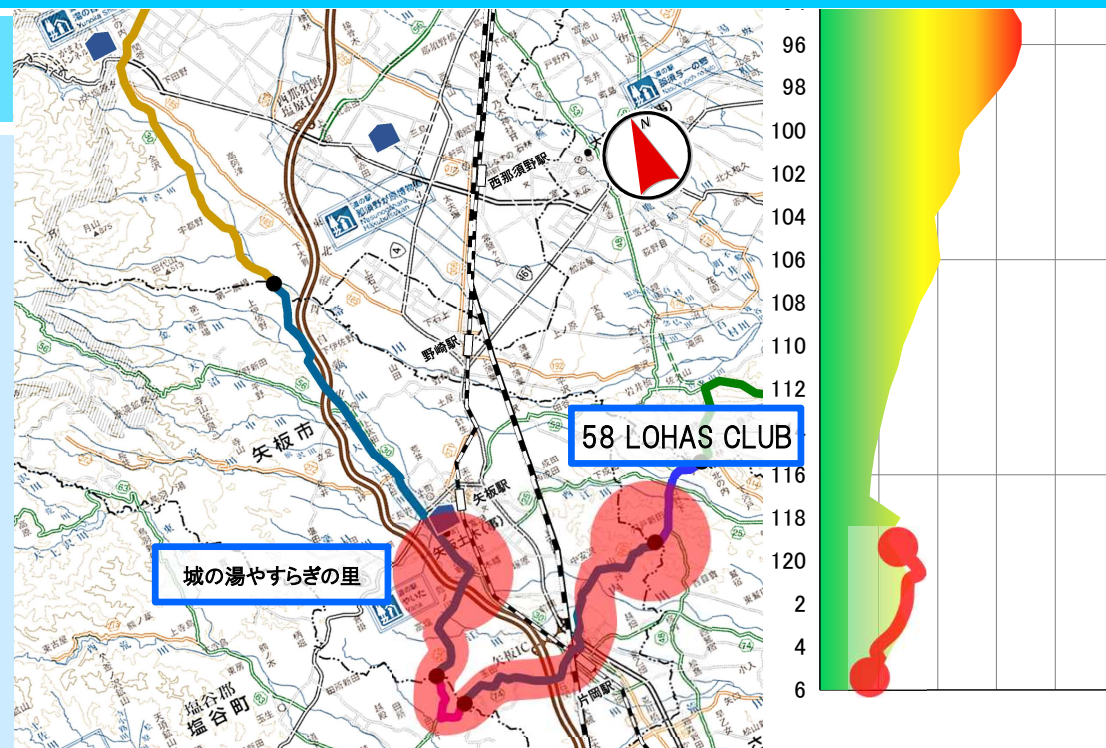
※中・初級者、家族向けの比較的平坦な区間

2)参加者

高坂委員、棚橋委員、委員代理(矢板市、塩谷町)、矢板市商工観光課、県地域振興課、事務局 計12名

○各委員からの意見

- ・走行中、車が避け、しまなみ街道の様にサイクリストを歓迎しているような印象を受けた。
- ・各施設はアットホームな感じであり、サイクリストを歓迎している印象を受けた。
- ・矢板市内のスポーツ交流人口は増えてきているが、観光消費額は減少しており、仕組みを考える必要あり。
- ・宿泊する部屋まで自転車を持ち込めるということが全国的に広がっていることから、工具の整備等もっと踏み込んだ工夫が必要。
- ・モデルルートを案内するコンシェルジュ等の配置が必要。
- ・地元にも、もっとサイクリストを身近な存在であることを認識してもらうために、説明会等地元を巻き込んだ取り組みが必要である。



1-4 モデルルート(案)の試走の結果

(4)第3回試走会

○第3回試走会

1)日時

令和2年10月9日(金) 午前10時から午後3時

2)目的

モデルルート(案)における第1回、第2回の試走ルート以外の区間について走行性の確認を行った

○試走会の概要

1)ルート

道の駅「那須高原友愛の森」

～「城の湯やすらぎの里」 片道約35km

「JR黒田原駅」

～「58 LOHAS CLUB」 片道約55km

2)参加者

谷委員、委員代理(県道路管理者)、

事務局 計7名



2 モデルルートの追加(案)について

2-1 モデルルートの追加(案)

(1) 概要

○ゲートウェイ(JR那須塩原駅)から
モデルルートまでの区間(約10km)

第1回協議会議事

・ゲートウェイとなる新幹線駅とモデルルートとの接続

↓ JR那須塩原駅との連結

・県道大田原高林線を追加

○県道矢板那須線から
八方ヶ原までの区間(約17km)

第1回試走会意見交換会

・一番勾配の厳しい区間が中級くらいのコース

・上級者を満足させるコースの検討が必要

↓ 上級者コースを検討

・「やいた八方ヶ原ヒルクライムレース」コースを追加



3 走行環境整備(路面表示・案内看板)(案) について

3-1 走行環境整備(路面表示・案内看板)(案)

- モデルルートにおける走行環境整備は、路面表示と案内看板とする。
- 路面表示は、矢羽根、誘導、案内、注意喚起の4種類とする。
- 案内看板は、誘導、案内の2種類とする。
- 路面表示の矢羽根の規格及び色については、交通管理者のご意見を踏まえた結果、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の仕様とする。
- 案内看板等については、法定外標識となることから、関係市町(那須塩原市、那須町)の屋外広告物条例等により、色彩等の基準を遵守する。

路面表示



矢羽根

誘導



案内



注意喚起

案内看板



県北地域モデルルート

誘導



県北地域モデルルート

案内

ナショナルサイクルルートの基準を参考

【矢羽根】

- ・単路部 ……100m間隔
- ・分岐部 ……別途のとおり

【誘導】

- ・右左折の交差点部に設置
- ・自転車マークはJIS規格

【案内】

- ・約5km間隔で設置

表示内容

主要地点名 例 「那須高原友愛の森」

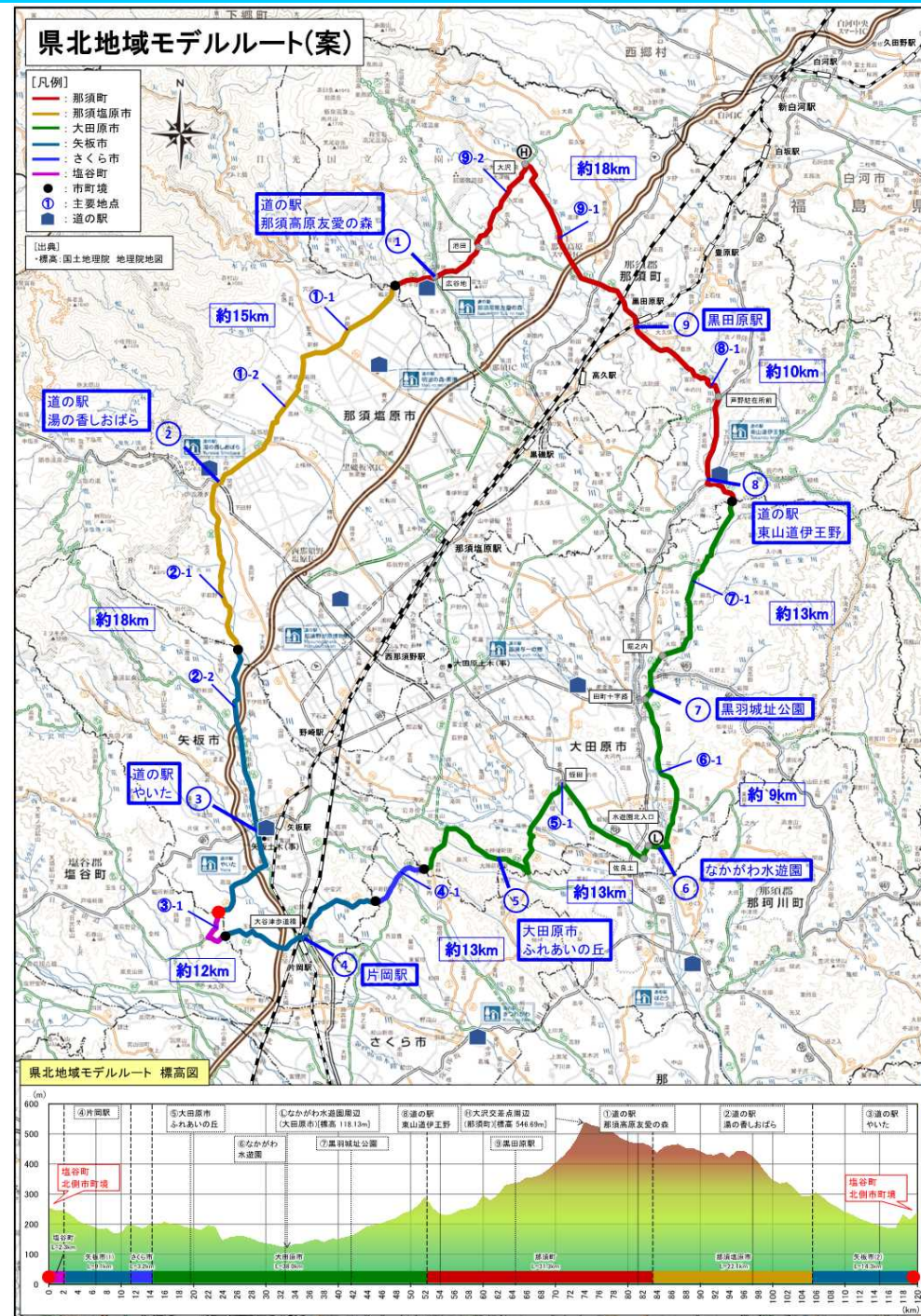
主要地点までの距離

現在地 例 「⑨-2」

3-2 走行環境整備(路面表示・案内看板)(案)

○主要地点箇所

- ① 道の駅「那須高原友愛の森」 ← 約19km
- ↓ 約15km
- ② 道の駅「湯の香しおばら」 ← 約16km
- ↓ 約18km
- ③ 道の駅「やいた」
- ↓ 約12km
- ④ JR片岡駅
- ↓ 約13km
- ⑤ ふれあいの丘
- ↓ 約13km
- ⑥ なかがわ水遊園
- ↓ 約9km
- ⑦ 黒羽城址公園
- ↓ 約13km
- ⑧ 道の駅「東山道伊王野」
- ↓ 約10km
- ⑨ JR黒田原駅
- ↓ 約18km
- ⑩ JR那須塩原駅
- ① 道の駅「那須高原友愛の森」



3-3 走行環境整備(路面表示・案内看板)(案)

○単路部における路面表示・案内看板を設置する場合の仕様(案)

【矢羽根(路面表示)】

・自転車の安全確保のため自転車通行を実質的に確保する矢羽根型路面表示を100m間隔で設置する。

【案内(路面表示・案内看板)】

- ・主要地点名称、距離、進行方向が記載された路面表示(案内)と案内看板を約5km間隔で設置する。
- ・案内看板については、英語でも表示する。

イメージ



← 100m間隔 →



3-4 走行環境整備(路面表示・案内看板)(案)

○分岐部における路面表示・案内看板を設置する場合の仕様(案)

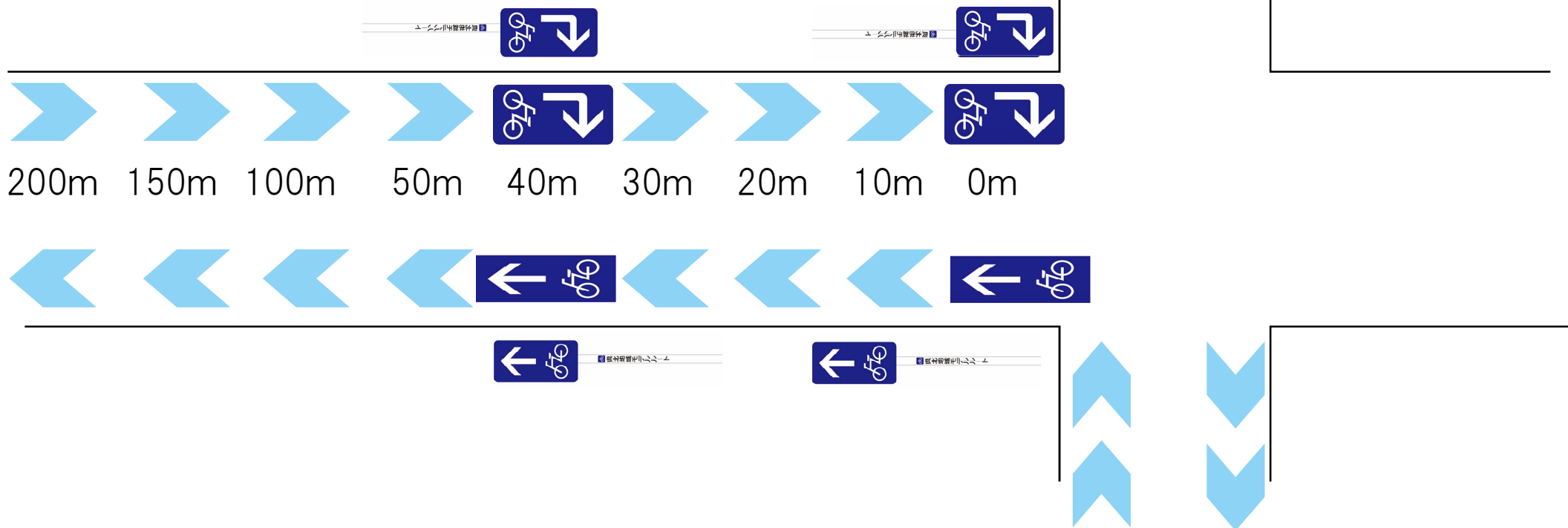
【矢羽根(路面表示)】

- ・分岐部 200m手前から矢羽根型路面表示を設置
- ・分岐部 200m,150m,100m,50m,30m,20m,10m地点に設置

【誘導(路面表示・案内看板)】

- ・分岐部 200m手前、20m手前に案内看板を設置
- ・分岐部 40m手前に路面表示を設置

イメージ



3-5 走行環境整備(路面表示・案内看板)(案)

○注意喚起の標示について

【注意喚起(路面表示)】

- ・上り勾配や下り勾配が急な箇所
- ・電柱等の路肩設置物に対して注意が必要な箇所

※ 今後、他県のモデルルートを参考に交通管理者と協議し、設置を検討

イメージ



4 モデルルート(案)の名称について

4-1 モデルルート(案)の名称

○モデルルート(案)の名称について、委員等から提案 55案

○55案の中から事務局で以下のキーワードから絞り込み

一次キーワード・・・地域をイメージできるキーワード

「とち」、「なす」



二次キーワード・・・地域の特徴をイメージできるキーワード

「温泉」、「円(くる、いち等)」、「道路の愛称(ロイヤル、ミルキー等)」



三次 ……呼びやすさ

九文字以内の名称

○事務局で絞り込みを行った5案は、以下のとおりです。

(A) 那須くるっ！

(B) ぐる那須

(C) とちきた湯遊ルート

(D) とちまる ぐるなす

(E) ナス1(イチ)

4-2 モデルルート(案)の名称選定及び今後の予定

【概要】

- ・本モデルルート(案)を広く周知するために、投票を実施
- ・候補案の中から、1つを選んで投票

【投票期間】

- ・投票時期： 令和2年11月中旬から12月上旬で設定
- ・投票期間： 2週間

【投票方法】

- ・ホームページ・SNS・チラシ等にQRコードを掲載し、読み取り専用フォームから投票

【今後の予定】

- ・令和3(2021)年1月末 第3回協議会で投票結果の報告
- ・協議会にて、名称の決定

5 モデルルートの活用の仕方の事例紹介について

6 今後の進め方について

6-1 今後の進め方について

○令和2(2020)年11月4日(本日)

第2回 県北地域サイクルツーリズム推進協議会

内 容 モデルルート(案)の試走の結果
モデルルートの追加(案)の提示
走行環境整備(路面表示・案内看板)(案)の提示
モデルルート(案)の名称の提示
モデルルートの活用の仕方の事例紹介
今後の進め方



○令和2(2020)年11月~12月

内 容 モデルルートの追加(案)の試走
モデルルート(案)の名称の投票



○令和3(2021)年1月下旬

第3回 県北地域サイクルツーリズム推進協議会

内 容 モデルルート(案)の決定
モデルルート(案)の名称決定
情報発信・広報の仕方の検討
モデルルートの活用の仕方の検討